

## 第1日目 9月18日 (土) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
9:00		
9:20		
9:40		
10:00		
10:20		
10:40		
11:00	<p>&lt;水文&gt;</p> <p>107 乙幡正喜* (法政大・院)・小寺浩二 (法政大) : 狭山丘陵の水環境に関する水文地理学的研究—河川源流域の汚染源を中心に (3)</p>	<p>&lt;地理教育&gt;</p> <p>207 三原昌巳 (昭和女子大) : 非対面・インターネット調査を地域調査の手法に導入した地理教育の実践</p>
11:20	<p>108 山形えり奈* (法政大・院)・小寺浩二 (法政大) : 阿武隈川流域の水環境に関する研究 (4)</p>	<p>208 山本隆太 (静岡大) : 地理教育の国際連携と学習手法の受容の関連性—「ミステリー」を事例として</p>
11:40	<p>109 小寺浩二 (法政大) ほか : 日本における河川水質の長期変動に関する水文地理学的研究 (3) — 「身近な水環境の一斉調査」第17回・18回の結果を中心に</p>	<p>209 栗栖悠貴* (国土地理院)・黒木貴一 (関西大) : 災害履歴情報と地形特性情報を用いた自然災害リスク発信の工夫</p>
12:00	<p>昼 休 み</p>	

## 第1日目 9月18日（土） 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
		9:00
		9:20
		9:40
		10:00
		10:20
		10:40
<p>〈観光〉</p> <p>307 池田千恵子（大阪成蹊大）：日本におけるアルベルゴ・ディフーズによる衰退地域の再生—静岡県熱海温泉を事例として</p> <p>308 文 迦（横浜市立大・院）：鎌倉のオーバーツーリズムに対する Irridex Modelの援用—住民意識の地区別差異</p> <p>309 森本佑子（清泉女学院短期大）：コモンズとしての温泉の資源管理問題—長野県浅間温泉の「共同湯」を事例に</p>		11:00
		11:20
		11:40
<p>昼 休 み</p>		12:00

第1日目 9月18日 (土) 午後

	第 1 会 場	第 2 会 場
	〈水文〉	〈農業・農村〉
13:00	110 大八木英夫 (南山大) : 日本国内の深度湖沼における冬季の水溫環境と鉛直循環形態について	210 荒木一視 (立命館大) : 1930年代後半の中国の食料貿易—『大東亜共栄圏綜合貿易年表』に基づく分析
	〈気候〉	
13:20	111 高橋日出男 (都立大) ほか: 東京都区部西部における接地逆転層上端の氣温変動と地上風系との関係	211 河本大地 (奈良教育大) ほか: 宇治茶の主産地・和束町におけるグリーンツーリズムの展開とコロナ禍のレジリエンス
13:40	112 中川清隆*・渡来 靖 (立正大) : 一様熱源と2冷熱源 (ニュートン冷却・水平熱拡散) を有する夜間都市境界層高度の水平分布—移流速度が比較的大きい場合	212 神品芳孝 (京大・院) : 関東平野における屋敷林・防風林の変化とその要因
14:00	113 藤部文昭*・松本 淳 (都立大) : 日本における暖候期の降水極大日・極小日の地域特性	213 海邊健二 (東北大) : 東北地方における森林資源量とエネルギー需給の地域特性に関する研究
14:20	114 加藤内藏進 (岡山大) ほか: ドイツ付近の冬の極端な低温日の出現状況に関する動気候学的解析	214 大西達也 (岡山大・院) ほか: ダム建設における水源地域対策が地域社会に及ぼす影響—岡山県苫田ダムを事例に
14:40	115 岡田将誌 (国立環境研) ほか: 全球作物生産性予測モデルCROVERの信濃川流域への適用	〈地域計画・地域政策〉 215 榎引素夫 (青森大) ほか: 新幹線と地域医療の関係性—新青森駅前の事例
	〈災害〉	
15:00	116 黄 璐 (筑波大・院) : 主体間関係からみた震災復興過程に関する地理学的研究—2016年熊本地震を事例として	216 本多広樹 (山形大) : 新潟県柏崎市における次世代自動車の活用—地域発の活用方法に着目して
15:20	117 岩船昌起 (鹿児島大) : 新型コロナウイルス感染症対策を考慮した避難所定員 (収容可能人数) の算出方法	217 佐藤 洋 (東京大・学振DC) : 東京大都市圏における人口減少・高齢化に伴う行財政問題と政策的対応
	〈地形〉	〈地図・GIS〉
15:40	118 丹羽雄一* (慶應義塾大)・石村大輔 (都立大) : 三陸海岸における後期更新世から完新世の地殻変動の再検討	218 長井彩綾 (都立大・院) ほか: 東京都における氷川神社の立地に関する研究
16:00	119 中田 高* (広島大・名誉)・熊原康博 (広島大) : ヒマラヤの横ずれ活断層に関する新知見	219 Soliman, M.* (JSPS International Research Fellow, Ritsumeikan Univ.) and Yano, K. (Ritsumeikan Univ.): Motivation and accurateness of mapping premodern Alexandria: GIS criticism on Gaston Jondet's Atlas
	〈人口・行動〉	
16:20	120 草野邦明 (群馬大) : 東京都区部における人口密度分布の変化と特徴	220 Hettiarachchi, C. J. (Post Graduate Student, Univ. of Tsukuba)* and Morimoto, T. (Univ. of Tsukuba): Spatial distribution of agro ecological diversity in pathadumbara DS division, Kandy, Sri Lanka
16:40	121 貴志匡博 (国立社会保障・人口問題研) : 東京圏内の人口移動	
17:00		

## 第1日目 9月18日（土） 午後

第 3 会 場	開始時刻
〈地理思想・方法論〉	
310 山崎孝史（大阪市立大）：地政学，応用地理学，学術倫理—「地政学ブーム」における地理学の視座	13:00
311 陳 乙萱（横浜国立大・院）：フェミニスト・ポリティカル・エコロジーの動向と災害研究	13:20
312 久島桃代（愛知工業大）：流体としての身体・場所	13:40
313 松山周一（筑波大・院）：地理学におけるメディアコンテンツの地図化と地図化できる空間としての“聖地巡礼”コンテンツ	14:00
〈政治・社会〉	
314 桑林賢治（京都大・学振DC）：沖縄と東京におけるアイヌの「記憶の場所」と先住民性	14:20
315 内田成昭（横浜国立大・院）：長崎県小値賀町における合併反対運動の地域的展開	14:40
316 近藤祐磨（学振PD・金沢大）：行政による海岸林保全活動の制度化の過程とその影響—佐賀県唐津市虹の松原を事例として	15:00
317 小泉佑介（静岡県立大）：環境ガバナンス論への地理学的スケール概念の適応可能性—その予備的考察	15:20
〈都市・交通〉	
318 鈴木美佳（大阪大・院）：公共交通の利便性が高齢者の外出行動に与える影響	15:40
319 吉原圭佑（法政大・院）：航空旅客流動動態からみる都市ネットワーク構造の変遷	16:00
〈海外地域研究〉	
320 雨森直也（大理大）：少数民族の農外就業と凝集力—中国雲南省鶴慶県におけるペー族村落の事例	16:20
321 張 紅（筑波大・院）：行政主導下の歴史的街並み保全における住民の行動	16:40
	17:00

## 第2日目 9月19日（日） 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
9:00	シンポジウム I（公開）  日本の地誌学習の新たな方向性 —参画をめざす地理教育—	〈歴史・文化〉 231 池田真利子*（筑波大）・高濱佑太郎 （立教大・学）：ベルリン市の夜の観光 街路における言語景観—旧西ベルリン市 ノイケルン地区Weserstr.を事例として
9:20	〔主催〕地理教育公開講座委員会 〔オーガナイザー〕田部俊充（日本女子大）・ 井田仁康（筑波大）・寺本 潔（玉川大）	232 大島拓真（筑波大・院）ほか：シンガポー ル・チャイナタウンにおける食文化の言 語景観の商品化
9:40	開始時刻 9:00 〔司会〕田部俊充（日本女子大）	233 熊谷美咲（筑波大・院）ほか：台湾台北 市旧大正町にみる日本の夜の街の言語景 観
10:00	S101 9:00～9:25 田部俊充（日本女子大）ほか：日本の地 誌学習の新たな方向性—参画をめざす地 理教育	234 岩月健吾（名古屋大・院）：「加治木の くも合戦」の存続要因—担い手に注目し て
10:20	S102 9:25～9:45 寺本 潔（玉川大）：広義の観光資源を 窓にした小中学校における地方地誌学習 の提案	235 遠藤なつみ（東京カートグラフィッ ク）：長野県における“ひとりもんジャ ンケン”の掛け声と用途の地域的差異
10:40	S103 9:45～10:05 井田仁康（筑波大）：子どもたちが画定 する地域区分とSDGs	236 横川知司（広島大・院）ほか：新型コロ ナウイルス流行に伴う伝統行事の変容— 広島県東広島市西条町のトンドを事例に
11:00	S104 10:05～10:25 有馬貴之（横浜市立大）：大学における 学外観光教育と地誌学の接点	237 岩佐佳哉（広島大・学振DC）：広島県 東広島市における道しるべの分布とその 特徴
11:20	S105 10:25～10:45 中嶋則夫（国立教育政策研）：新学習指 導要領と地誌学習の方向性—日本の諸地 域学習を中心に  〔休憩・質疑〕10:45～11:10	238 永迫俊郎*（鹿児島大）・上村 僚（奄 美市立小宿小）：奄美大島宇検村屋鈍に おけるシマの地名呼称と環境利用
11:40	S106 11:10～11:30 大西宏治（富山大）：総括：日本の地誌 学習の新たな方向性—地理教育国際憲章 の視点	239 熊原康博（広島大）ほか：学際的な手法 を用いた近世後半新田開発の進展過程の 復元—東広島市西条盆地南部，三升原を 事例として
12:00	〔発表者から一言ずつ〕11:30～11:50 〔挨拶・次回予告〕11:50～12:10 第41回日本地理学会地理教育公開講座について 終了時刻 12:10	
<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">昼 休 み</div>		

## 第2日目 9月19日（日） 午後

第 1 会 場	第 2 会 場	開始時刻
シンポジウムⅡ（公開）	シンポジウムⅢ	
<p style="text-align: center;">新たな高等学校地理教育体系における 高大接続を考える</p> <p>〔主催〕日本地理学会理事会、企画専門委員会、 地理教育専門委員会 〔オーガナイザー〕宇根 寛・長谷川直子（お 茶の水女子大）・井田仁康（筑波大）</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 13:30</p> <p>S201 〔趣旨説明〕13:30～13:40 宇根 寛（お茶の水女子大・研究協力 員）ほか：新たな高等学校地理教育体系 における高大接続を考える</p> <p>S202 13:40～13:55 矢野桂司（立命館大）：新しい地理教育 に対して大学がすべきことは何か？</p> <p>S203 13:55～14:10 佐藤裕治*（河合塾）・宮路秀作（代々 木ゼミナール）：現課程の大学入試にお ける地理科目の現状と課題</p> <p>S204 14:10～14:25 小関祐之（大学入試センター）：大学入 学共通テスト（地理科目）の目指すべき 方向性</p> <p>〔質疑応答〕14:25～14:35 〔休憩〕14:35～14:45</p> <p>S205 14:45～15:00 秋本弘章（獨協大）：私立大学における 大学入学共通テストの利用</p> <p>S206 15:00～15:15 戸井田克己（近畿大）：私立大学が「地 理」を出題する意義</p> <p>S207 15:15～15:30 松井圭介（筑波大）：国公立大学におけ る地理入試と大学地理教育</p> <p>〔質疑応答〕15:30～15:40 〔コメント〕15:40～16:00 竹内裕一（千葉大・名誉）・由井義通 （広島大）</p> <p>〔総合討論〕16:00～16:30</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 16:30</p>	<p>原子力災害被災地、これまでの10年と これからの10年—被災地復興とアーカイ ブズから地理学の果たす役割を考える— 〔オーガナイザー〕高木 亨・山川充夫・初沢 敏生（福島大）・増田 聡（東北大）</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 13:00</p> <p>S301 〔趣旨説明〕13:00～13:10 高木 亨(福島大) ほか：原子力災害被 災地、これまでの10年とこれからの10年 —被災地復興とアーカイブズから地理学 の果たす役割を考える</p> <p>S302 13:10～13:35 山川充夫（福島大・名誉）：ふくしま災 害復興10年の中間検証—原発事故被害の 累積性と人間復興の地理学</p> <p>S303 13:35～13:55 瀬戸真之（福島大）：福島県浜通りにお ける原子力災害のアーカイブズ化</p> <p>S304 13:55～14:15 深谷直弘（福島大）：原爆（戦争）経験 の継承論からみる震災経験の伝承</p> <p>S305 14:15～14:35 天野和彦（福島大）：東日本大震災の教 訓をどう活かすか—復興の現場からの提 言</p> <p>〔休憩〕14:35～14:45</p> <p>S306 14:45～15:05 井出 明（金沢大）：福島第一原発の世界 遺産化について考える—その許容性と 必要性</p> <p>S307 15:05～15:25 近藤昭彦（千葉大）：原子力災害から考 える問題解決型科学のあり方</p> <p>〔コメント〕15:25～15:55 初澤敏生（福島大）・増田 聡（東北 大）</p> <p>〔休憩〕15:55～16:05 〔総合討論〕16:05～16:50 〔閉会の辞〕16:50～17:00</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 17:00</p>	

# 第1・2日目 9月18・19日 (土・日)

## ポスター会場

### ポスター発表

ポスター発表は、9月18日(土)11時～17時00分までと9月19日(日)9時～24時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、9月18日(土)12時～13時の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

P001 千葉 晃(練馬区立石神井西中):日本の主要都市(東名阪/札仙広福および那覇)における「快適な気温=20.0~24.9℃」の出現頻度—2020年暦年のデータによる	P011 鹿島 薫*(九州大)・福本 侑(島根大):台湾中部頭社泥炭地における珪藻および黄金色藻化石を指標とした過去9000年間の洪水履歴の復元
P002 瀬戸芳一*・高橋日出男(都立大):夏季晴天日の関東平野における局地風系型の近年における変化	P012 内山琴絵*・廣内大助(信州大):災害デジタルアーカイブを活用した災害伝承の場づくり
P003 蓑島 誠*(法政大・学)・小寺浩二(法政大):北海道・常呂川の水質に与える人為的影響(1)	P013 宇根 寛(お茶の水女子大・研究協力員)ほか:位置情報データを基にした洪水警報発令時の水平・垂直避難行動の可視化
P004 小田理人*(法政大・学)・小寺浩二(法政大):多摩川水系浅川の水質に関する水文地理学的研究(3)	P014 松岡 農(芝浦工業大学柏中学高等学校):非可住域における震災伝承活動—仙台市若林区荒浜地区を事例に
P005 黒田春菜*(法政大・学)・小寺浩二(法政大):猪苗代湖集水域の水循環に伴う物質収支に関する研究—中性化問題に焦点を当てて(3)	P015 根元裕樹*(都立大)・夏目宗幸(立命館大):D3.jsを用いた地図投影法学習教材の開発
P006 佐藤 浩(日本大)ほか:2018年胆振東部地震被災域における岩盤地すべりの侵食深のGIS解析	P016 市川 聖(島根県立大・客員研):秋田県における百貨店の歴史の変遷による一考察
P007 石村大輔*(都立大)・山田圭太郎(立命館大):SfMと機械学習を用いた沿岸巨礫の抽出—和歌山県串本町橋杭岩を例として	P017 両角政彦(都留文科大):種苗類の輸入規制緩和にともなう農産物生産と卸売市場流通の地域変動
P008 小岩直人(弘前大)ほか:タイ南西部バカラン岬周辺の津波石の起源に関する考察—地形発達史の視点から	P018 桐村 喬(皇學館大):DSMによる第2次大戦以降の都市の3次元の時空間分析の試み
P009 村田昌則(都立大)ほか:火山噴出物の再移動による埼玉県東部元荒川沿い沖積低地形成への影響	P019 細井将右(地図情報研):1880年前後のフランス地形図事情と日本
P010 佐藤善輝(産業技術総合研)ほか:沖縄県那覇低地における完新世後期の堆積環境復原	P020 勝又悠太郎(広島大)ほか:インドにおける新型コロナウイルス(COVID-19)感染の空間的特徴(第2報)